

# 瑞浪市立陶小学校

活動の種類 (複数回答可)	健康・安全 (奉仕) 国際理解・親善 (その他) (地域学習)
活動の単位	(全校) (学年) 委員会 クラブ (その他)
教育課程上の 主な位置づけ	(教科) 道徳 特別活動 (総合的な学習) (児童会) ・生徒会活動 委員会・部活動 (学校行事) (その他) (教育課程外の時間)

## 1. 活動テーマ

響き合うあったかい心の育成 ～ふるさと陶を誇り思いやる心を育む～

## 2. 学校紹介

本校は、学級数7、児童数149名の小さな学校である。かつては陶磁器産業が盛んであったが現在その産業が衰退し保護者の多くは校区外へ通勤している。三世代同居家族が多く教育に対する関心が深く、学校教育に協力的である。

本年度は、笑顔と活気やる気のある学校をめざし、その重点として「確かな学力の向上」、「響き合うあったかい心の育成」、「強い心と体」の3つを掲げた。特に「響き合うあったかい心の育成」では地域とそこに暮らす人々との関わりを根幹に置いた体験活動と授業を仕組み、児童にふるさとを誇る心や思いやりの心、粘り強さを養う実践を行った。

## 3. 活動内容

### (1) 地域のよさを学ぶ、地域の方から学ぶ (各学年)

#### 地域の方からさつまいも栽培を学ぶ

1、2年生は、社会福祉協議会陶支部・長寿会の皆さんに5月にさつまいもの植え方を教えていただき、10月に収穫した。見事に育ったいもは家に持って帰ったり、11月には、1、2年生がお世話になった方々を招待しておいもパーティーを開催したりした。



#### 地域の障がい者施設で学ぶ

5年生は、11月には福祉施設「障がい者支援施設サニーヒルズみずなみ」を訪問し、職員の方に施設の状況とその職場の意義について説明していただいた。また利用者の方とオセロゲームやトランプなどをして交流し、安心して暮らすことができる施設の仕組みを知ることができた。



#### 地域の産業を学ぶ

3年生は『水上ボランの広場 in 陶』で枝豆の収穫や食の体験をしたり、日吉町大豆栽培農場や土岐市大竹醤油醸造を見学したりした。大豆が様々な食品に加工されることを学習し、実際の自分の目や鼻で確かめた。



#### 地域の方から環境について学ぶ

4年生は、5月に、EM菌の作用や培養の仕方を教えていただいた。EM菌の原液に糖蜜をまぜ、その液を全校に呼びかけて集めた米のとぎ汁に入れ、EM菌を培養した。2ℓのペットボトル120本できあがったが、6月に濁ったプールに投入しプールの水をきれいにした。

#### 地域の歴史を学ぶ

6年生は校区を通る中馬街道の歴史を調べている。11月には陶小付近の中馬街道を探索し、道沿いにある道標や灯籠、馬頭観音などを観察したり、道標の文字の意味を考えたりしながら探索した。



### (2) 行事の意義を知り地域行事に参加する (全校)

#### 追跡ハイクに参加

今年は陶町大川の4.5kmコースである「追跡ハイク」に全校で参加した。山道は険しく足がぼろのよう



になったが、コース途中にある課題を親子でやりながら陶の自然や文化、歴史を親子、地域の方々と一緒に学んだ。

#### 地域の祭りに参加

校区の三つの地域にある神社で行われる秋祭り子ども達がお囃子を披露した。子ども達はお囃子保存会の方々からいろいろなお囃子を教えていただいているが、秋晴れの晴天の下で、各町内を練り歩きながらお囃子を披露した。境内でもこれまで練習してきたお囃子を演奏して集まった方々から拍手をいただいた。



#### 陶町文化祭、サニーヒルズ祭に参加

10月、第38回陶町文化祭および第22回サニーヒルズ祭が開催された。陶小学校からも各学年から絵画や書道の作品や粘土作品、科学作品、発明工夫作品等を出品した。



サニーヒルズ祭では芸能の部も開催され子ども達も猿爪区お囃子保存会のお囃子で参加した。

#### 与左衛門窯祭に参加

9月与左衛門窯祭と窯出しが行われた。10日間つづいた焼成も終わり、窯からは次々に焼きあがった作品が運び出されていた。どの作品も釉薬がかけられ味わいのあるものになっていた。3年生の「ふしぎな魚」と5年生の「こま犬」もそれぞれ素晴らしい焼き上がりであった。作品のいくつかは、陶町の文化祭でも展示した。

### (3) 陶中学校、陶幼稚園との交流・あいさつ運動 (全校)

#### 陶小中学校合同あいさつ運動

7月と10月、朝、小中学校合同あいさつ運動を行なった。小学校生活委員、中学校生活委員が小学校校門前に立ち、登校してくる子ども達に声をかけた。今もさらに自分から進んで大きな声で笑顔のあいさつができるように指導している。



#### 地域の方によるあいさつ運動

毎月更生保護女性の方や青少年育成町民会議民生部会の皆さんが、地域の子ども達を自分たちで見守り気持ちのよいあいさつを広めようと小学校の校門の前に立ちあいさつ運動をしてくださっている。「おはようございます。」と笑顔の元気の良いあいさつを返すことのできる子も何人かいるが、子ども達を応援して下さる地域のみなさんに進んで大きな声で笑顔のあいさつができるように指導を続けている。

#### 陶幼稚園児とおたまじゃくしすくい

6月、生活科の学習と幼稚園との交流をねらい1、2年生が陶幼稚園年長児15人を小学校のプールに招いて「おたまじゃくしすくい」を行なった。1、2年生と園児が一緒になり少人数のグループに分かれてタモや素手でのおたまじゃくしをすくった。小学生は園児にすくい方を教えたり、すくったおたまじゃくしをわけてあげたりしていた。



#### 陶中学校との合唱交流会

11月虹の輪集会(児童会集会)を開いた。この会は中学校1年生との交流集会であった。はじめに中学生と一緒に全校で合唱し、次に4、5年生が小中音楽会で発表する曲を合唱、合唱を通じた交流を深めた。

ここがポイント	子ども達に豊かな心、思いやりの心、故郷を誇る心を育むことは単年度でできることではない。地域住民とのかかわりを大切にし、工夫改善し複数年継続して育むものである。
ここがねらい	継続して行うことで、地域学習の内容の理解が深まる。小学生は中学生の姿から幼稚園児は小学生の姿から学んでいる。それにより高学年は低学年に教えたり、手伝ったりするなどリーダー性を鍛える活動になっている。下学年は高学年の姿を見て憧れ、それを目標にして取り組むことができる。
効 果	子ども達に思いやりの心、粘り強さを養うことができた。また、地域の方々に一緒に活動しながら教えていただくことにより、地域の方々が大切にしてきたものを自分達が引き継ぐ大切さの認識を深めることができた。
学校等のコメント	これらの活動は、以前から継続して行っているものである。それが青年赤十字の実践目標、態度目標を達成させる実践と重なることが改めて認識できた。来年度も自信を持って取り組んでいきたい。

担当者氏名： 教頭 小木曾 佳子